

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月15日

計画の名称	岡山県玉野市における、安全で快適な魅力ある水環境づくり												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	玉野市,岡山県												
計画の目標	下水道整備を行うことにより、安全・安心な暮らしを実現する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,260	A	3,260	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R3当初	中間目標値 R5末	最終目標値 R7末
1	下水道処理人口普及率を96%(R3)から98%(R7)へ向上させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	96%	97%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	玉野市	直接	玉野市	管渠(汚水)	新設	未普及対策事業(玉野処理区)	汚水管 150~200 L=25.0km	玉野市						3,100	-	
	A07-002	下水道	一般	玉野市	直接	玉野市	管渠(汚水)	新設	未普及対策事業(調査・設計)	委託費	玉野市						100	-	
	A07-003	下水道	一般	岡山県	直接	-	-	-	流総計画策定	児島湾流総・児島湖流総計画策定	岡山県 外20市町村						60	-	
											小計							3,260	
											合計							3,260	

交付金の執行状況

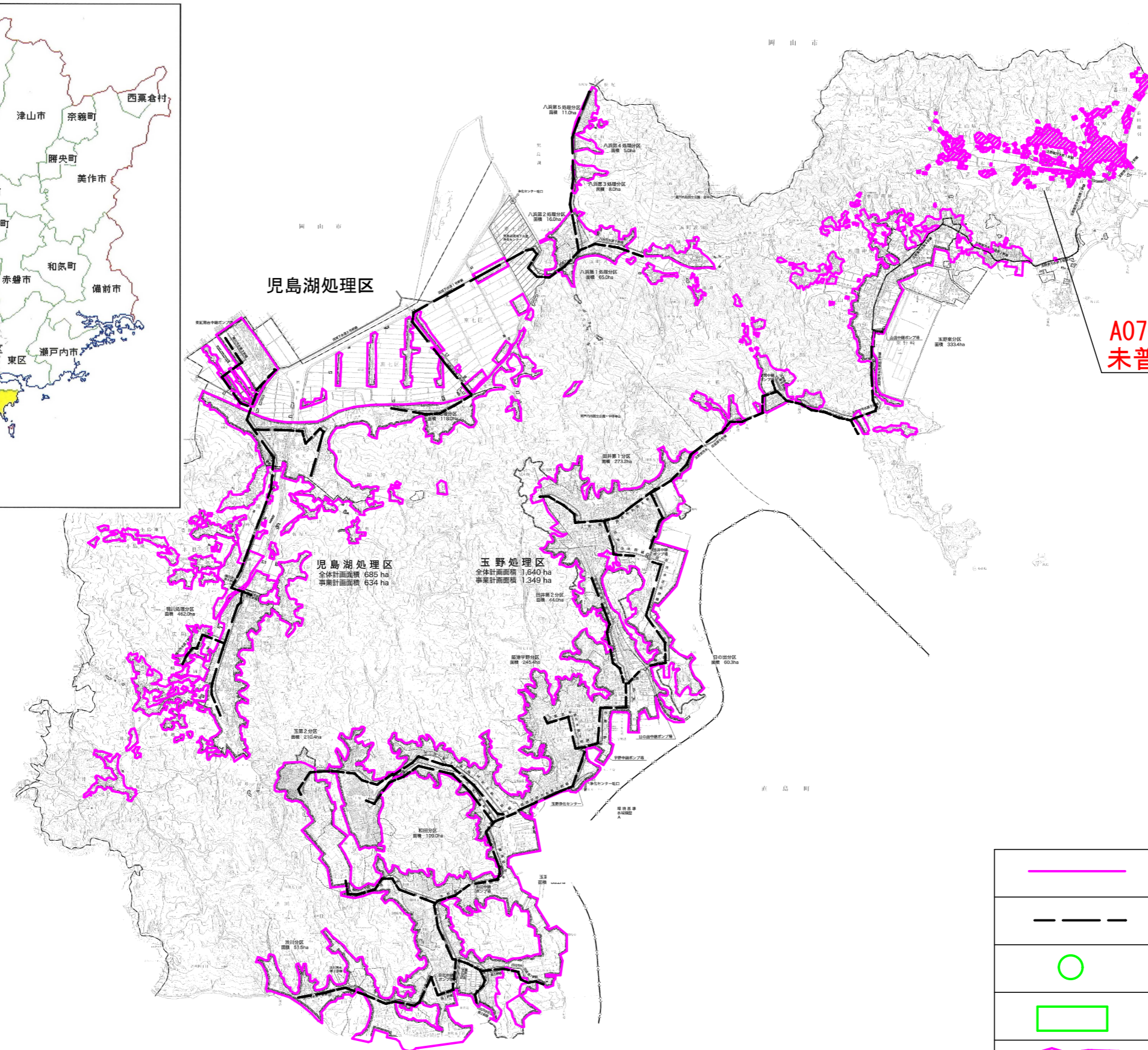
(単位：百万円)

	R03	R04			
配分額 (a)	190	101			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	190	101			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	79	0			
翌年度繰越額 (f)	111	101			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)

(参考図面) 参考図面 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	岡山県玉野市における、安全で快適な魅力ある水環境づくり		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度 (5年間)	交付対象	玉野市



A07-001, A07-002
未普及対策事業 (玉野処理区)

凡 例

	事業計画区域
	既設幹線
	ポンプ場
	処理場
	整備予定区域

(参考様式3)

(参考図面)社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金)

計画の名称	岡山県玉野市における、安全で快適な魅力ある水環境づくり		
計画の期間	令和3年度 ~ 令和7年度(5年間)	交付対象	岡山県



A07-003 流総計画策定

事前評価チェックシート

計画の名称： 岡山県玉野市における、安全で快適な魅力ある水環境づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想（クリーンライフ100構想）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検（4つの点検）」の実施結果を反映している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効率的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 3) 計画および実施に関し、住民との間で合意が形成されている。	○